

抗がん剤治療患者におけるB型肝炎再活性化への対策に関するPDCAについて

- ① B型肝炎ウイルス(HBV)キャリアに合併した悪性腫瘍患者に対しステロイドを併用した化学療法を施行した場合、HBVの再活性化により致死的な重症肝炎が発症することが報告されている。
- ② 厚生労働省研究班が作成した「免疫抑制・化学療法により発症するB型肝炎対策ガイドライン」が、日本肝臓学会から発表されておりガイドライン即した抗がん剤治療が望まれている。
- ③ 当院において、がん化学療法施行中の患者でHBVマーカーの未測定が散見されたため、B型肝炎再活性化への対策を講じる必要があった。

B型肝炎再活性化への対策におけるPDCA

Act

- ✓ 検証結果より、HBV再活性化への対策を見直し、さらにCDTM業務の拡大と質の向上に努める。

Plan

- ✓ B型肝炎再活性化への対策としての院内対策プログラムの構築
- ✓ HBV関連マーカーの測定実施状況を把握する

Check

- ✓ 化学療法開始時チェックリストの改善効果検証する

Do

- ✓ 化学療法開始時チェックシートの改定
- ✓ 薬剤師による院内スタッフ教育、情報提供する
- ✓ 「免疫抑制・化学療法により発症するB型肝炎対策ガイドライン」に準じたHBV関連マーカー測定として、薬剤師が検査実施歴を確認し情報提供する。
- ✓ 医師と薬剤師による共同薬物治療管理(CDTM)の実施